

日本原子力学会 標準委員会 発電炉専門部会  
確率論的安全評価(レベル1及びレベル2)分科会  
第21回 レベル2PSA 作業会 議事要旨

日 時:平成18年5月10日(水) 13:30~17:00

場 所:原子力安全基盤機構 第13B会議室

出席者:

委員 梶本, 住田, 山越, 石川, 大野, 加藤, 倉本, 杉山, 成宮, 濱崎, 久持 11名  
(欠席 日高, 大橋)

常時参加者 舟山 (欠席 川端, 荻野)

配付資料:

- P4WG21-1 第20回作業会議事要旨(案)
- P4WG21-2 仕様規定化見直し:附属書(案)
- P4WG21-3 仕様規定への修正についての検討(仕様規定化見直し:4章)
- P4WG21-4 仕様規定化見直し:7, 8章
- P4WG21-5 仕様規定化見直し:本文(案)
- P4WG21-6 仕様規定化見直し:3章, 解説2
- P4WG21-7 仕様規定化見直し:4, 5章
- P4WG21-8 仕様規定化見直し:7, 8, 10, 11章

P4WG21-参考1 レベル2標準の改訂にむけた方針検討のお願い(案)

P4WG21-参考2 PSA品質ガイドライン

P4WG21-参考3 品質ガイドラインからの3項目の学会PSA関連標準における記載についての意見

### 議事概要

議事に先立ち、主査より委員11名が出席しており、本会議が決議に必要な定足数を満たしていることが報告された。

#### 1) 前回議事要旨確認(P4WG21-1)

特にコメントなく承認された。

#### 2) 人事

大橋委員が退任することが報告され、新たに川邊氏(保安院)が委員に推薦され、作業会としても全会一致で推薦することに決定した。今後、分科会にて承認予定。

#### 3) 今後のスケジュール

事務局から以下の連絡があった。

- ・ 標準委員会は年4回開催することになっているが、分科会・作業会での作業状況に応じて開催してもよいと考えている。専門部会も同様。
- ・ 当初は、発電炉専門部会は5/E~6/Bに開催しようと思っていたが、上記の理由により開催スケジュールは流動的である。

#### 4) 標準案修正に関する検討(P4WG21-2~8)

以下の議論があった。

##### a) PSA品質ガイドラインとの整合性について

- ・ PSA品質ガイドラインの要求を満足するために学会標準に追加する項目(3章「レベル2PSAの実施手順」及び附属書1「レベル2PSAの妥当性を確保するための方策」)の案についての説明があった。
- ・ これに対して審議を行い、結果を標準案に反映するとともに、出された意見を他のPSA分

科会と調整することとなった。

b) 仕様規定化について

- 個別の修正案の検討に入る前に、作業会委員の間で仕様規定化に対する共通認識を持つべきであり、また、修正方針を明確にしておく必要があるとの意見があった。
- これに対する議論の結果、仕様規定化への修正は「評価する項目及び手法を具体的に記述する」という方針に従うことで合意した。また、分科会への説明資料の作成は、主査に一任することで合意した。
- 個別の修正案については、各委員の案に基づいて議論し、結果を標準案に反映することとなった。

5) 今後の予定

- 5月11日の分科会にて、レベル2PSA標準の修正状況について説明。
- 次回発電炉部会(実施時期未定)までに、各委員からの追加コメントを集約。
- 次回作業会の開催は未定。

以上